

## 平成25年度 第2回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成25年 9月24日（火） 16：45～17：10

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

木村武実、末松直幸、野口利幸、内村美子、益田博文、蛭原賢司、和田冬樹

審議事項：

申請番号 2506

【課題名】 認知症患者長期入院の退院支援の現状

【申請者】 高崎 ゆかり（菊池病院 看護師長）

【研究の概要】 2007年の小川らによる先行研究では認知症患者の入院長期化の要因として、「症状安定・家族介護困難による施設探索・待機」「家族と医療者の意向未調整による入院継続」などがあげられている。しかし先行研究時と現在ではシステム、サービス等の変更、認知症患者の増加があるため、当病棟における長期入院の要因を明らかにすることで、今後の退院支援の取り組みに活かしていける材料となるのではないかと感じ本研究に取り組むこととした。

【判定】 承認

申請番号 2507

【課題名】 クロザピン服用中の治療抵抗性統合失調症患者家族の心理過程  
～退院後インタビューから一考察～

【申請者】 興梶 嘉彰（菊池病院 看護師長）

【研究の概要】 クロザピン使用患者家族のクロザピン服用開始前から退院後までの

期待や不安などの、心理過程の変化を明らかにし今後、退院を控えている患者や家族への関わり方の一助とする。

【判定】承認

申請番号 2508

【課題名】 フェルラ酸・ガーデンアンゼリカ抽出物の認知症患者における感染症発症に与える影響についての研究

【申請者】 木村 武実（菊池病院 副院長・臨床研究部長）

【研究の概要】 フェルラ酸・ガーデンアンゼリカ抽出物（FG）は、認知機能の進行抑制効果、BPSDの軽快などが認められている。一方、FGは活性酸素や慢性炎症の抑制が確認され、糖尿病、脂質異常症への軽減作用も報告されている。これらのことから、FGの身体合併症に対する抑制効果が期待される。本研究では、FGを3ヶ月間以上服用している認知症入院患者とそうでない患者において、身体合併症で多く見られる肺炎、尿路感染症、および発熱の出現頻度を後方視的に解析する。

【判定】承認